

新採用3年以内の教員調査報告

—広島大学時代の教育・学習経験に関する調査—

池野 範 男 ・ 若元 澄 男 ・ 桑山 尚 司
(2005年11月28日受理)

Report of Research on Educational and Learning Experiences which Teachers, be taking into service within three years, have had in the Faculty of Education, Graduate School of Education, Hiroshima University

Norio IKENO, Sumio WAKAMOTO and Hisashi KUWAYAMA

Abstract. This paper aims to report on the result of the research on educational and learning experiences which teachers, be taking into service within three years, have had in the Faculty of Education, Graduate School of Education, Hiroshima University. The joint section of education and teacher education in the Faculty of Education, Graduate School of Education planned and implemented the research according to the plan of a middle period for six years since 2004.

The aim of the research is to clarify educational and learning experiences which teachers, be taking into service within three years, have had in the Faculty of Education, Graduate School of Education, Hiroshima University and to make the use of the result to improve the curriculum on the Faculty and Graduate School.

1. 本調査報告の目的

本報告は、2005年4-5月にかけて、法人化に伴い教育学部・教育学研究科が策定した中期計画に従い、教育部会長と教育実習部会長が共同して学士課程(学部)教育と大学院教育の改善のために実施した新採用3年以内の卒業生・修了生の現職教員に対する学部・大学院時代の教育・学習経験を調査した結果を報告することを目的としている。

本調査は、教育学部・教育学研究科の学士課程教育、大学院教育カリキュラムを再構築する際、その基礎的なデータとして利用するために、採用間もない現職教員から見た本教育学部・大学院教育学研究科の教育経験に関する意見聴取を行ったものである。

実施理由は、第1に、2004(平成16)年度から6年間の教育学部・教育学研究科の中期計画に、新教育学部・教育学研究科として発足して6年すぎ、各課程のカリキュラムの問題点を改善しさら

によい教育を実施することが求められているからである。第2は、2006(平成18)年度から教育プログラム制が開始され、「特色ある教育実習」の構築が求められ、さらには、教職大学院の設立が計画されているなど、教育学部・教育学研究科の学士課程教育、大学院教育カリキュラムの再構築が迫られているからである。

以下では、調査内容、調査結果の概要を報告し、調査結果から導かれる学部・大学院カリキュラムの問題点と改善点を示すことにしたい。

2. 調査内容

2.1 調査目的

教育学部・学校教育学部、教育学研究科・学校教育研究科を卒業・修了し、ここ3年間に正採用された教員を対象にし、学部・研究科時代の教育・学習経験の実態を調査することである。

2.2 調査内容

調査用紙は、資料1のとおりである。項目は21項目、設定しているが、大きく、Ⅰ. 入学時の期待、Ⅱ. 学部・大学院の教育・学習経験、Ⅲ. 学部・大学院の教育・学習経験の成果と評価、Ⅳ.

教員生活における各領域の力量について問うている。これらの4つの大項目に関連して、学部・大学院時代の教育・学習経験と、現在の教員生活から見たその評価内容を調査し収集することをねらっている。

資料1 調査票

新採用3年以内の教員における 広島大学時代の教育・学習経験に関する調査

この調査は、広島大学教育学部・教育学研究科の教育活動を改善するために、教育学部・学校教育学部、教育学研究科・学校教育研究科の卒業生・修了生で、ここ3年間で正採用された教員のみなさんへ、学部・研究科時代の教育・学習経験の実態を明らかにすることを目的にしたものです。調査の結果は、学術的な目的で統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。また、その結果を当学部・研究科の教育改善に活かす予定ですので、よろしくご協力いただきますようお願いします。なお、提出の期限、提出方法につきましては、下記のようにお願いいたします。

平成17年4月 大学時代の教育・学習経験に関する調査
広島大学・教育学部・教育学研究科

提出期限：平成17年5月20日(金)までに、ご投函ください。
提出方法：同封の封筒に入れ、郵送にてご返送ください。

※質問は全部で21問、回答に要する時間は約20分です。最後までお答えいただくようお願いします。

現在の所属 (必ずご記入ください)

所属都道府県 ()
学校種 (小学校 中学校 高等学校 盲学校 聾学校 養護学校
そのほか ())
設置形態 (国・公立学校 私立学校
そのほか ())
主担当教科 ()
出身学部コース名 ()
出身大学院専攻・専修名 ()
大学入学年(西暦) ()年
性別 男 女
年齢 ()歳

出身都道府県 (回答は任意です)

①大学の所在地と同じ ②大学の所在地とは別 ③海外

学部卒業から現在までの期間について該当する番号に○を付けてください。

①1年 ②2年 ③3年 ④4年 ⑤5年 ⑥6年以上

正教諭採用後の教育活動従事期間について該当する番号に○を付けてください。

①1年 ②2年 ③3年

新採用3年以内の教員調査報告

I. 広島大学教育学部入学時のことについてうかがいます

問1. あなたはどのような学習を期待して広島大学に入学しましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

| | 期待せず | あまり期待せず | ある程度期待 | 期待していた |
|----------------|------|---------|--------|--------|
| 授業を通じた学習 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 授業以外の個人的学習 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 将来の職業に役立つ学習 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 自分の興味・関心を満たす学習 | 1 | 2 | 3 | 4 |

II. 教育学部・教育学研究科の教育・学習経験についてうかがいます

問2. あなたは、教育学部の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

| | 0時間 | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | 21-25 | 26-30 | 31時間以上 |
|-------------|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 授業の準備のための学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 卒業研究のための学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 授業とは関係のない学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| サークル・クラブ活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| アルバイト等の仕事経験 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

問3. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは、大学院の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

| | 0時間 | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | 21-25 | 26-30 | 31時間以上 |
|--------------|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 授業の準備のための学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 修士論文研究のための学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 授業とは関係のない学習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| サークル・クラブ活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| アルバイト等の仕事経験 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

問4. あなたは学部時代(3・4年次)に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。

| 読書の量 | 0冊 | 1-5冊 | 6-10冊 | 11-20冊 | 20冊以上 | わからない |
|---------------|----|------|-------|--------|-------|-------|
| 授業に関連する図書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 卒業論文研究に関連する図書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| その他の一般書や専門書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| レポートの提出 | 0回 | 1-5回 | 6-10回 | 11-20回 | 20回以上 | わからない |
| 中間・期末レポート | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| その他のレポート | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問5. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院時代に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。

| 読書の量 | 0冊 | 1-5冊 | 6-10冊 | 11-20冊 | 20冊以上 | わからない |
|---------------|----|------|-------|--------|-------|-------|
| 授業に関連する図書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 修士論文研究に関連する図書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| その他の一般書や専門書 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| レポートの提出 | 0回 | 1-5回 | 6-10回 | 11-20回 | 20回以上 | わからない |
| 中間・期末レポート | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| その他のレポート | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問 6. 教育学部における学習経験についてそれぞれお答えください。

| | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 授業の理解度 | 1 ほとんど理解できていない 3 ある程度理解できている | 2 あまり理解できていない 4 ほとんど理解できている |
| 授業への出席 | 1 ほとんど出席していない 3 ある程度出席している | 2 あまり出席していない 4 ほとんど出席している |
| 成 績 | 1 非常によくない 3 ある程度よい | 2 あまりよくない 4 非常によい |
| 自分の興味・関心で 選んだ授業の割合 | 全体の () 割くらい | |

問 7. 大学院を修了した人にうかがいます。大学院における学習経験についてそれぞれお答えください。

| | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 授業の理解度 | 1 ほとんど理解できていない 3 ある程度理解できている | 2 あまり理解できていない 4 ほとんど理解できている |
| 授業への出席 | 1 ほとんど出席していない 3 ある程度出席している | 2 あまり出席していない 4 ほとんど出席している |
| 成 績 | 1 非常によくない 3 ある程度よい | 2 あまりよくない 4 非常によい |
| 自分の興味・関心で 選んだ授業の割合 | 全体の () 割くらい | |

Ⅲ. 学部・大学院の教育・学習経験の成果や評価についてうかがいます

問 8. 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果について、それぞれお答えください。

| | あてはま らない | あまりあて はまらない | ある程度 あてはまる | あてはまる |
|--------------------------------|-------------|----------------|---------------|-------|
| 専門分野に関する基本的知識・概念をおぼえている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関する基本的知識・概念を人にわかるように説明できる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関する知識を使って世の中の出来事を理解できる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関する技術を実際の場面で使える | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関することからの優劣や価値を判断できる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関する新しい概念や解釈の仕方を創造できる | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 9. 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果が現在の勤務に役立っていますか。それぞれお答えください。

| | 全く役立っ ていない | あまり役立っ ていない | ある程度 役立っている | たいへん 役立っている |
|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 専門分野に関する基本的知識・概念 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 専門分野に関する技術・技能 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 教育実習の経験 | 1 | 2 | 3 | 4 |

○全く役立っていない、あまり役立っていないを選択したひとへ、その理由をお書きください。

()

問 10. あなたは学部教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。

| | 充実して いなかった | あまり充実して いなかった | ある程度充実 していた | 充実していた | わからない |
|--------------|---------------|------------------|----------------|--------|-------|
| 授業 (教養・共通教育) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 授業 (専門教育) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 授業 (教育実習) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 授業 (卒業論文・研究) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大学生活全般 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

新採用3年以内の教員調査報告

- 充実していなかった、あまり充実していなかったを選択したひとへ、その理由をお書きください。
 (教養・共通教育：)
 (専門教育：)
 (教育実習：)
 (卒業論文・研究：)
 (大学生生活一般：)

問11. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。

| | 充実していなかった | あまり充実していなかった | ある程度充実していた | 充実していた | わからない |
|-------------|-----------|--------------|------------|--------|-------|
| 授業（専門教育） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 授業（修士論文・研究） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大学院生活全般 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- 充実していなかった、あまり充実していなかったを選択したひとへ、その理由をお書きください。
 (専門教育：)
 (修士論文・研究：)
 (大学院生活一般：)

問12. あなたは同じ専門分野を学ぼうとしている人に対して、広島大学教育学部・教育学研究科での学習を勧(すす)めますか。

- ① 勧めない ② あまり勧めない ③ ある程度勧める ④ 勧める ⑤ わからない

○勧めない、あまり勧めないを選択したひとへ、その理由をお書きください。

()

問13. あなたは、広島大学教育学部・教育学研究科での学習が投資（授業料を払う価値のあるもの）に値すると思いますか。

- ① 思わない ② あまり思わない ③ ある程度思う ④ 思う ⑤ わからない

○思わない、あまり思わないを選択したひとへ、その理由をお書きください。

()

IV. あなた自身のことについてうかがいます

問14. あなたは教育学部入学時、卒業時、大学院入学時、修了時に将来についてどのように考えていましたか。それぞれもっともよくあてはまるものを1つ選んでください。

| | 特に考えていない | 専門をいかせる就職 | 専門を問わない就職 | 大学院への進学 |
|---------|----------|-----------|-----------|---------|
| 学部入学時点 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 学部卒業時点 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 大学院入学時点 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 大学院修了時点 | 1 | 2 | 3 | 4 |

問15. あなたは将来、教員になろうと決めたのはいつですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 高校までに ② 大学入学時 ③ 学部2年次 ④ 学部3年次 ⑤ 学部4年次
 ⑥ 大学院時代 ⑦ その他 ()

問16. 教員になろうとした動機、きっかけは何ですか。(複数、選択可能)

- ① 小学校時代の学習経験 ② 中学校時代の学習経験 ③ 高校時代の学習経験
 ④ 大学時代の学習経験 ⑤ 教育実習の経験 ⑥ 大学院の学習経験
 ⑦ その他 ()

問17. 現在の学習指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である |
|---------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|
| 授業に取り組む姿勢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒の学力などを捉える力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 授業の設計や運営の技術・技能 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教材についての理解と開発能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒の実態に即した授業能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| これまでの項目を総合的に見た授業の力量 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問18. 現在の生徒指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である |
|--------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|
| 児童・生徒に関わっていく姿勢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒の実態を理解し共感する姿勢や能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒を指導する技術や能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒を支援する技術や能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童・生徒の実態に即した個別の生徒指導能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| これまでの項目を総合的に見た個別の生徒指導の力量 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問19. 現在の学級経営の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である |
|--------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|
| 学級経営に関わっていく姿勢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学級の状態や必要などを捉える力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学級経営の方針を立て運営する技術や能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学級集団の秩序を維持する技術や能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 創意工夫のある学級経営を行う能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 児童生徒の実態に即した学級づくりを行う力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| これまでの項目を総合的に見た学級経営に関する力量 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

新採用3年以内の教員調査報告

問20. 他の教育活動の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である |
|-----------------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|
| コンピュータなどの機器を使用する能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 環境教育、国際理解教育などの新たな教育課題を的確に捉え対応する能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 向上心にもとづく自己研修の力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 保護者との連携や協調の能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教師仲間との人間関係を築く能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学校の教育活動全体のなかで考え行動する能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 人権教育や道徳教育を実践する能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問21. 現在の教育状況やあなたの力量からすると、今後どのような領域について高い技術や方法論を身につけることが必要と思いますか。以下の項目はどの程度、必要と思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

| | ほとんど必要がない | あまり必要がない | やや必要である | かなり必要である | きわめて必要である |
|--------------------------------|-----------|----------|---------|----------|-----------|
| コンピュータなどの情報機器関係の方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 外国語でコミュニケーションする力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 子どもとコミュニケーションする力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 発達に課題をもったり障害をもったりする児童・生徒に対応する力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学級集団をまとめる方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学校経営や組織についての方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 創造的に授業を組み立てる方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学習指導に関わる方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 学習評価についての方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 規律指導などを行う方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 保護者とコミュニケーションを図る方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 地域社会の人々とつきあう方法や技術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

これまでの教育・学習経験を振り返って、あなたの大学の最もよいと思われる点と、最も改善が必要と思われる点を、以下の欄に自由に記入してください。

(欄 省略)

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

3. 調査結果

3.1 調査実施内容

調査期間は、2005（平成17）年4月26日付けで郵送し、5月15日までの回答期間とした約2週間であった。

調査対象は、教育学部・学校教育学部、教育学

研究科・学校教育研究科を卒業・修了し、ここ3年間に教員として正採用された教員、412名を対象にした。

調査方法は、郵送とし、各対象者に郵送し、対象者からは郵送により回答を郵送してもらうという方法を採用した。

3.2 調査結果

調査回答は、412通中、161通（39.1%）であった。そのうち、15通に回答不備があり、有効回答数は146通（35.4%）であった。学校種、出身学部、性別、従事期間に、ばらつきが見られ、調査対象が平均的なものではなかった。そのため、こ

れらの観点による結果分布などの整理分析を施したが、有為な結果とはいえないため、報告は控えることにし、全体的な結果のみ報告することにした。

調査結果の概要は、資料2のとおりである。数値結果とそれに関する若干の所見（資料3）を以下に示している。

資料2 調査結果

新採用3年以内の教員における
広島大学時代の教育・学習経験に関する調査（結果）

送付調査票数：412通
返送回答数：161通（39.1%）
入学年等の回答に不備のある欠損調査票：15通
有効回答数：146通（35.4%）

【回答者の基礎個人情報】

所属都道府県：結果省略

学校種：

| | 小 | 中 | 高 | 中高一貫 | 盲 | 聾 | 養 | 幼 | 大学 | 教育委員会 | 無回答 | 計 |
|-----|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 回答数 | 66 | 28 | 27 | 9 | 2 | 2 | 7 | 2 | 1 | 1 | 1 | 146 |
| % | 45.2 | 19.2 | 18.5 | 6.2 | 1.4 | 1.4 | 4.8 | 1.4 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 100 |

設置形態：

| | 国・公立 | 私立 | 無回答 | 計 |
|-----|------|------|-----|-----|
| 回答数 | 127 | 18 | 1 | 146 |
| % | 87.0 | 12.3 | 0.7 | 100 |

主担当教科：結果省略

出身学部：

| | 旧教育 | 学教 | 新教育 | 他大学 | 無回答 | 計 |
|-----|------|------|------|-----|-----|-----|
| 回答数 | 31 | 79 | 26 | 7 | 3 | 146 |
| % | 21.2 | 54.1 | 17.8 | 4.8 | 2.1 | 100 |

大学院進学者：

| | 学内からの進学者 | 他大学からの進学者 | 未進学者 | 無回答 | 計 |
|-----|----------|-----------|------|-----|-----|
| 回答数 | 27 | 7 | 112 | 0 | 146 |
| % | 18.5 | 4.8 | 76.7 | 0 | 100 |

大学入学年（西暦）：

| | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 計 |
|-----------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----|
| 学部入学年(%) | 8 (5.5) | 9 (6.2) | 47 (32.2) | 48 (32.9) | 27 (18.5) | — | — | 146 |
| 他大学からの大学院入学年(%) | — | — | — | — | 2 (1.4) | 2 (1.4) | 3 (2.1) | |

新採用3年以内の教員調査報告

性別：

| | 男 | 女 | 無回答 | 計 |
|-----|------|------|-----|-----|
| 回答数 | 53 | 93 | 0 | 146 |
| % | 36.3 | 63.7 | 0 | 100 |

年齢：サンプル平均年齢25.3歳（最低年齢23～最高年齢42歳）

出身都道府県：（サンプル数146中の%のみ記す）

| | 1：大学の所在地と同じ | 2：大学の所在地とは別 | 3：海外 | 無回答 | 計 |
|------|-------------|-------------|------|-----|-----|
| 回答数% | 26.7 | 73.3 | 0 | 0 | 100 |

学部卒業から現在までの期間：（サンプル数146中の%のみ記す）

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年以上 | 無回答 | 計 |
|------|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|
| 回答数% | 15.1 | 26.0 | 41.1 | 4.8 | 9.6 | 1.4 | 2.1 | 100 |

正教諭採用後の教育活動従事期間：（サンプル数146中の%のみ記す）

| | 1年 | 2年 | 3年 | 無回答 | 計 |
|------|------|------|------|-----|-----|
| 回答数% | 24.7 | 26.7 | 45.9 | 2.8 | 100 |

I. 広島大学教育学部入学時のことについてうかがいます

問1. あなたはどのような学習を期待して広島大学に入学しましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。（146サンプル中の%）

| | 期待せず | あまり期待せず | ある程度期待 | 期待していた | 無回答 | 計 |
|----------------|------|---------|--------|--------|-----|-----|
| 授業を通じた学習 | 0.7 | 2.7 | 35.6 | 61.0 | 0 | 100 |
| 授業以外の個人的学習 | 3.4 | 24.7 | 52.7 | 19.2 | 0 | 100 |
| 将来の職業に役立つ学習 | 0.7 | 2.1 | 13.0 | 84.2 | 0 | 100 |
| 自分の興味・関心を満たす学習 | 0 | 2.7 | 35.6 | 61.6 | 0 | 100 |

II. 教育学部・教育学研究科の教育・学習経験についてうかがいます

問2. あなたは、教育学部の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。（139サンプル中の%）

| | 0時間 | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | 21-25 | 26-30 | 31時間以上 | 無回答 | 計 |
|-------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|-----|
| 授業の準備のための学習 | 8.6 | 52.5 | 19.4 | 13.7 | 5.0 | 0.7 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 卒業研究のための学習 | 2.2 | 14.4 | 18.7 | 18.7 | 12.9 | 12.2 | 5.0 | 15.8 | 0 | 100 |
| 授業とは関係のない学習 | 15.1 | 55.4 | 11.5 | 5.8 | 3.6 | 3.6 | 2.2 | 2.2 | 0.7 | 100 |
| サークル・クラブ活動 | 20.1 | 25.9 | 17.3 | 12.9 | 10.8 | 6.5 | 2.2 | 3.6 | 0.7 | 100 |
| アルバイト等の仕事経験 | 3.6 | 20.9 | 23.7 | 24.5 | 17.3 | 6.5 | 0.7 | 2.9 | 0 | 100 |

問3. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは、大学院の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。(34サンプル中の%)

| | 0時間 | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | 21-25 | 26-30 | 31時間以上 | 無回答 | 計 |
|--------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|-----|
| 授業の準備のための学習 | 0 | 8.8 | 35.3 | 23.5 | 11.8 | 14.7 | 2.9 | 2.9 | 0 | 100 |
| 修士論文研究のための学習 | 0 | 0 | 8.8 | 8.8 | 8.8 | 26.5 | 11.8 | 35.3 | 0 | 100 |
| 授業とは関係のない学習 | 5.9 | 35.3 | 26.5 | 17.6 | 8.8 | 5.9 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| サークル・クラブ活動 | 64.7 | 26.5 | 5.9 | 0 | 2.9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| アルバイト等の仕事経験 | 17.6 | 29.4 | 26.5 | 8.8 | 8.8 | 5.9 | 2.9 | 0 | 0 | 100 |

問4. あなたは学部時代(3・4年次)に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。(139サンプル中の%)

| 読書の量 | 0冊 | 1-5冊 | 6-10冊 | 11-20冊 | 20冊以上 | わからない | 無回答 | 計 |
|---------------|-----|------|-------|--------|-------|-------|-----|-----|
| 授業に関連する図書 | 0.7 | 28.8 | 27.3 | 14.4 | 20.1 | 7.9 | 0.7 | 100 |
| 卒業論文研究に関連する図書 | 0 | 12.9 | 22.3 | 23.7 | 36.7 | 3.6 | 0.7 | 100 |
| その他の一般書や専門書 | 0.7 | 25.2 | 21.6 | 18.0 | 27.3 | 5.8 | 1.4 | 100 |
| レポートの提出 | 0回 | 1-5回 | 6-10回 | 11-20回 | 20回以上 | わからない | 無回答 | 計 |
| 中間・期末レポート | 0 | 24.5 | 28.1 | 21.6 | 7.2 | 18.0 | 0.7 | 100 |
| その他のレポート | 4.3 | 39.6 | 15.8 | 6.5 | 5.0 | 28.1 | 0.7 | 100 |

問5. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院時代に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。(34サンプル中の%)

| 読書の量 | 0冊 | 1-5冊 | 6-10冊 | 11-20冊 | 20冊以上 | わからない | 無回答 | 計 |
|---------------|-----|------|-------|--------|-------|-------|-----|-----|
| 授業に関連する図書 | 0 | 5.9 | 35.3 | 11.8 | 44.1 | 2.9 | 0 | 100 |
| 修士論文研究に関連する図書 | 0 | 0 | 5.9 | 11.8 | 79.4 | 2.9 | 0 | 100 |
| その他の一般書や専門書 | 0 | 5.9 | 14.7 | 26.5 | 41.2 | 11.8 | 0 | 100 |
| レポートの提出 | 0回 | 1-5回 | 6-10回 | 11-20回 | 20回以上 | わからない | 無回答 | 計 |
| 中間・期末レポート | 2.9 | 20.6 | 23.5 | 14.7 | 11.8 | 26.5 | 0 | 100 |
| その他のレポート | 5.9 | 32.4 | 20.6 | 2.9 | 11.8 | 26.5 | 0 | 100 |

問6. 教育学部における学習経験についてそれぞれお答えください。(139サンプル中の%)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|------|-----|
| 授業の理解度 | ほとんど理解できていない | あまり理解できていない | ある程度理解できている | ほとんど理解できている | 無回答 | 計 | | | | | | | | |
| | 2.2 | 9.4 | 70.5 | 18.0 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 授業への出席 | ほとんど出席していない | あまり出席していない | ある程度出席している | ほとんど出席している | 無回答 | 計 | | | | | | | | |
| | 3.6 | 0.7 | 15.8 | 79.9 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 成績 | 非常によくない | あまりよくない | ある程度よい | 非常によい | 無回答 | 計 | | | | | | | | |
| | 0 | 3.6 | 82.0 | 14.4 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 自分の興味・関心で選んだ授業の割合(%) | 0割 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 無回答 | 平均 | 計 |
| | 0% | 2.9 | 9.4 | 11.5 | 6.5 | 6.5 | 5.8 | 15.1 | 28.1 | 12.2 | 1.4 | 0.7 | 6.1割 | 100 |

新採用3年以内の教員調査報告

問7. 大学院を修了した人にうかがいます。大学院における学習経験についてそれぞれお答えください。(34サンプル中の%)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----|---|------|------|------|-----|-----|------|-----|
| 授業の理解度 | ほとんど理解できていない | あまり理解できていない | ある程度理解できている | ほとんど理解できている | 無回答 | 計 | | | | | | | | |
| | 0 | 5.9 | 76.5 | 17.6 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 授業への出席 | ほとんど出席していない | あまり出席していない | ある程度出席している | ほとんど出席している | 無回答 | | | | | | | | | |
| | 5.9 | 0 | 5.9 | 88.2 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 成績 | 非常に良くない | あまり良くない | ある程度よい | 非常によい | 無回答 | | | | | | | | | |
| | 0 | 2.9 | 61.8 | 35.3 | 0 | 100 | | | | | | | | |
| 自分の興味・関心で選んだ授業の割合 (%) | 0割 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 無回答 | 平均 | 計 |
| | 2.9% | 2.9 | 0 | 5.9 | 5.9 | 5.9 | 0 | 17.6 | 20.6 | 29.4 | 8.8 | 0 | 7.1割 | 100 |

III. 学部・大学院の教育・学習経験の成果や評価についてうかがいます

問8. 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果について、それぞれお答えください。(146サンプル中の%)

| | | | | | | |
|--------------------------------|---------|------------|-----------|-------|-----|-----|
| | あてはまらない | あまりあてはまらない | ある程度あてはまる | あてはまる | 無回答 | 計 |
| 専門分野に関する基本的知識・概念をおぼえている | 2.1 | 21.2 | 62.3 | 14.4 | 0 | 100 |
| 専門分野に関する基本的知識・概念を人にわかるように説明できる | 9.6 | 47.3 | 36.3 | 6.8 | 0 | 100 |
| 専門分野に関する知識を使って世の中の出来事を理解できる | 5.5 | 43.2 | 45.9 | 5.5 | 0 | 100 |
| 専門分野に関する技術を実際の場面で使える | 6.2 | 42.5 | 43.2 | 8.2 | 0 | 100 |
| 専門分野に関することがらの優劣や価値を判断できる | 6.2 | 45.9 | 42.5 | 5.5 | 0 | 100 |
| 専門分野に関する新しい概念や解釈の仕方を創造できる | 18.5 | 60.3 | 19.9 | 1.4 | 0 | 100 |

問9. 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果が現在の勤務に役立っていますか。それぞれお答えください。(146サンプル中の%)

| | | | | | | |
|------------------|-----------|------------|------------|------------|-----|-----|
| | 全く役立っていない | あまり役立っていない | ある程度役立っている | たいへん役立っている | 無回答 | 計 |
| 専門分野に関する基本的知識・概念 | 1.4 | 28.1 | 48.6 | 21.9 | 0 | 100 |
| 専門分野に関する技術・技能 | 2.7 | 32.2 | 42.5 | 22.6 | 0 | 100 |
| 教育実習の経験 | 0.7 | 11.0 | 48.6 | 37.7 | 2.1 | 100 |

○全く役立っていない、あまり役立っていないを選択したひとへ、その理由をお書きください。
(省 略)

問10. あなたは学部教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。(139サンプル中の%)

| | | | | | | | |
|-------------|----------|-------------|------------|--------|-------|-----|-----|
| | 充実してなかった | あまり充実してなかった | ある程度充実していた | 充実していた | わからない | 無回答 | 計 |
| 授業(教養・共通教育) | 3.6 | 29.5 | 56.8 | 7.9 | 1.4 | 0.7 | 100 |
| 授業(専門教育) | 0 | 9.4 | 44.6 | 45.3 | 0 | 0.7 | 100 |
| 授業(教育実習) | 0 | 6.5 | 20.9 | 71.9 | 0 | 0.7 | 100 |
| 授業(卒業論文・研究) | 1.4 | 11.5 | 46.8 | 39.6 | 0.7 | 0 | 100 |
| 大学生活全般 | 0 | 1.4 | 36.7 | 61.2 | 0 | 0.7 | 100 |

○充実してなかった、あまり充実してなかったを選択したひとへ、その理由をお書きください。
(教養・共通教育： 省 略)
(専門教育： 省 略)
(教育実習： 省 略)
(卒業論文・研究： 省 略)
(大学生活一般： 省 略)

問 11. 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。(34サンプル中の%)

| | 充実して いなかった | あまり充実して いなかった | ある程度充実 していた | 充実していた | わからない | 無回答 | 計 |
|-------------|---------------|------------------|----------------|--------|-------|-----|-----|
| 授業(専門教育) | 0 | 2.9 | 35.3 | 61.8 | 0 | 0 | 100 |
| 授業(修士論文・研究) | 0 | 2.9 | 26.5 | 70.6 | 0 | 0 | 100 |
| 大学院生活全般 | 0 | 0 | 14.7 | 85.3 | 0 | 0 | 100 |

○充実していなかった、あまり充実していなかったを選択したひとへ、その理由をお書きください。
 (専門教育: 省 略)
 (修士論文・研究: 省 略)
 (大学院生活一般: 省 略)

問 12. あなたは同じ専門分野を学ぼうとしている人に対して、広島大学教育学部・教育学研究科での学習を勧めますか。(146サンプル中の%)

| 回 答 | 勧めない | あまり 勧めない | ある程度 勧める | 勧める | わからない | 無回答 | 計 |
|-----|------|-------------|-------------|-----|-------|-----|-----|
| % | 0.7 | 0 | 44.5 | 50 | 3.4 | 1.4 | 100 |

○勧めない、あまり勧めないを選択したひとへ、その理由をお書きください。
 (省 略)

問 13. あなたは、広島大学教育学部・教育学研究科での学習が投資(授業料を払う価値のあるもの)に値すると思いますか。(146サンプル中の%)

| 回 答 | 思わない | あまり 思わない | ある程度 思う | 思う | わからない | 無回答 | 計 |
|-----|------|-------------|------------|------|-------|-----|-----|
| % | 0 | 2.1 | 47.9 | 46.6 | 2.7 | 0.7 | 100 |

○思わない、あまり思わないを選択したひとへ、その理由をお書きください。
 (省 略)

IV. あなた自身のことについてうかがいます

問 14. あなたは教育学部入学時、卒業時、大学院入学時、修了時に将来についてどのように考えていましたか。それぞれもっともよくあてはまるものを1つ選んでください。(学部については146サンプル中の%、大学院については34サンプル中の%)

| | 特に考えて いない | 専門をいかせ る就職 | 専門を問わな い就職 | 大学院 への進学 | 無回答 | 計 |
|---------|--------------|---------------|---------------|-------------|-----|-----|
| 学部入学時点 | 11.0 | 76.0 | 4.8 | 5.5 | 2.7 | 100 |
| 学部卒業時点 | 0 | 77.4 | 0 | 19.9 | 2.7 | 100 |
| 大学院入学時点 | 8.8 | 88.2 | 2.9 | 0 | 0 | 100 |
| 大学院修了時点 | 2.9 | 88.2 | 8.8 | 0 | 0 | 100 |

問 15. あなたは将来、教員になろうと決めたのはいつですか。あてはまるものを1つ選んでください。(146サンプル中の%)

| 回 答 | 高校 までに | 大学 入学時 | 学部 2年次 | 学部 3年次 | 学部 4年次 | 大学院 時代 | その他 | 無回答 | 計 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|-----|
| % | 70.5 | 6.2 | 0.7 | 8.9 | 7.5 | 4.8 | 0 | 1.4 | 100 |

新採用3年以内の教員調査報告

問16. 教員になろうとした動機、きっかけは何ですか。(146サンプル中の％、複数選択可能)

| 回答 | 小学校時代の学習経験 | 中学校時代の学習経験 | 高校時代の学習経験 | 大学時代の学習経験 | 教育実習の経験 | 大学院の学習経験 | その他 | 無回答 |
|----|------------|------------|-----------|-----------|---------|----------|------|-----|
| ％ | 43.8 | 39.0 | 27.4 | 17.8 | 30.1 | 5.5 | 18.5 | 1.4 |

その他(省 略)

問17. 現在の学習指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(146サンプル中の％)

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である | 無回答 | 計 |
|---------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|-----|-----|
| 授業に取り組む姿勢 | 4.8 | 10.3 | 30.1 | 45.9 | 8.2 | 0.7 | 100 |
| 児童・生徒の学力などを捉える力 | 5.5 | 26.0 | 43.8 | 23.3 | 0.7 | 0.7 | 100 |
| 授業の設計や運営の技術・技能 | 13.0 | 29.5 | 39.0 | 17.1 | 0.7 | 0.7 | 100 |
| 教材についての理解と開発能力 | 12.3 | 26.7 | 41.1 | 19.2 | 0 | 0.7 | 100 |
| 児童・生徒の実態に即した授業能力 | 11.6 | 29.5 | 41.1 | 16.4 | 0.7 | 0.7 | 100 |
| これまでの項目を総合的に見た授業の力量 | 12.3 | 28.1 | 47.9 | 11.0 | 0 | 0.7 | 100 |

問18. 現在の生徒指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(146サンプル中の％)

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である | 無回答 | 計 |
|--------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|-----|-----|
| 児童・生徒に関わっていく姿勢 | 0.7 | 9.6 | 33.6 | 44.5 | 11.0 | 0.7 | 100 |
| 児童・生徒の実態を理解し共感する姿勢や能力 | 0.7 | 11.6 | 34.9 | 43.2 | 8.9 | 0.7 | 100 |
| 児童・生徒を指導する技術や能力 | 9.6 | 32.9 | 39.0 | 17.8 | 0 | 0.7 | 100 |
| 児童・生徒を支援する技術や能力 | 6.8 | 21.9 | 47.3 | 22.6 | 0 | 1.4 | 100 |
| 児童・生徒の実態に即した個別の生徒指導能力 | 7.5 | 25.3 | 45.9 | 19.9 | 0 | 1.4 | 100 |
| これまでの項目を総合的に見た個別の生徒指導の力量 | 10.3 | 19.9 | 50.0 | 17.8 | 0 | 2.1 | 100 |

問19. 現在の学級経営の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(146サンプル中の％)

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である | 無回答 | 計 |
|--------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|-----|-----|
| 学級経営に関わっていく姿勢 | 2.1 | 8.9 | 37.7 | 41.1 | 6.8 | 3.4 | 100 |
| 学級の状態や必要などを捉える力 | 4.1 | 16.4 | 44.5 | 31.5 | 0 | 3.4 | 100 |
| 学級経営の方針を立て運営する技術や能力 | 8.9 | 32.2 | 37.7 | 17.8 | 0 | 3.4 | 100 |
| 学級集団の秩序を維持する技術や能力 | 8.2 | 22.6 | 40.4 | 24.0 | 1.4 | 3.4 | 100 |
| 創意工夫のある学級経営を行う能力 | 8.9 | 33.6 | 39.7 | 13.7 | 0.7 | 3.4 | 100 |
| 児童生徒の実態に即した学級づくりを行う力 | 7.5 | 25.3 | 43.2 | 20.5 | 0 | 3.4 | 100 |
| これまでの項目を総合的に見た学級経営に関する力量 | 7.5 | 27.4 | 47.9 | 13.7 | 0 | 3.4 | 100 |

問20. 他の教育活動の力量について、以下の項目はどの程度のものでしょうか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(146サンプル中の%)

| | 不足している | 少し不足している | どちらともいえない | ほぼ十分である | 十分である | 無回答 | 計 |
|-----------------------------------|--------|----------|-----------|---------|-------|-----|-----|
| コンピュータなどの機器を使用する能力 | 7.5 | 16.4 | 30.8 | 40.4 | 4.8 | 0 | 100 |
| 環境教育、国際理解教育などの新たな教育課題を的確に捉え対応する能力 | 11.0 | 39.7 | 40.4 | 7.5 | 1.4 | 0 | 100 |
| 向上心にもとづく自己研修の力 | 2.7 | 17.8 | 38.4 | 34.9 | 6.2 | 0 | 100 |
| 保護者との連携や協調の能力 | 1.4 | 15.1 | 44.5 | 32.9 | 5.5 | 0.7 | 100 |
| 教師仲間との人間関係を築く能力 | 1.4 | 2.1 | 25.3 | 58.9 | 12.3 | 0 | 100 |
| 学校の教育活動全体のなかで考え行動する能力 | 4.1 | 14.4 | 50.0 | 29.5 | 2.1 | 0 | 100 |
| 人権教育や道徳教育を実践する能力 | 7.5 | 37.0 | 40.4 | 13.0 | 2.1 | 0 | 100 |

問21. 現在の教育状況やあなたの力量からすると、今後どのような領域について高い技術や方法論を身につけることが必要と思いますか。以下の項目はどの程度、必要と思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(146サンプル中の%)

| | ほとんど必要がない | あまり必要がない | やや必要である | かなり必要である | きわめて必要である | 無回答 | 計 |
|--------------------------------|-----------|----------|---------|----------|-----------|-----|-----|
| コンピュータなどの情報機器関係の方法や技術 | 2.1 | 8.9 | 45.2 | 32.2 | 11.6 | 0 | 100 |
| 外国語でコミュニケーションする力 | 2.1 | 22.6 | 38.4 | 26.0 | 11.0 | 0 | 100 |
| 子どもとコミュニケーションする力 | 0 | 8.9 | 30.1 | 26.0 | 34.9 | 0 | 100 |
| 発達に課題をもったり障害をもったりする児童・生徒に対応する力 | 0 | 2.7 | 29.5 | 41.1 | 26.7 | 0 | 100 |
| 学級集団をまとめる方法や技術 | 0 | 2.7 | 22.6 | 34.9 | 39.0 | 0.7 | 100 |
| 学校経営や組織についての方法や技術 | 0 | 10.3 | 24.7 | 40.4 | 24.7 | 0 | 100 |
| 創造的に授業を組み立てる方法や技術 | 0 | 0.7 | 23.3 | 37.7 | 38.4 | 0 | 100 |
| 学習指導に関わる方法や技術 | 0 | 1.4 | 16.4 | 45.2 | 37.0 | 0 | 100 |
| 学習評価についての方法や技術 | 0 | 3.4 | 27.4 | 37.7 | 31.5 | 0 | 100 |
| 規律指導などを行う方法や技術 | 1.4 | 6.2 | 34.9 | 32.2 | 24.7 | 0.7 | 100 |
| 保護者とコミュニケーションを図る方法や技術 | 0 | 7.5 | 34.9 | 34.2 | 22.6 | 0.7 | 100 |
| 地域社会の人々につきあう方法や技術 | 0 | 11.6 | 46.6 | 28.1 | 13.7 | 0 | 100 |

○思わない、あまり思わないを選択したひとへ、その理由をお書きください。

(省 略)

これまでの教育・学習経験を振り返って、あなたの大学の最もよいと思われる点と、最も改善が必要と思われる点を、以下の欄に自由に記入してください。

(省 略)

資料3 調査結果への所見

「新採用3年以内の教員における広島大学時代の教育・学習経験に関する調査」結果への所見

I. 広島大学教育学部入学時のことについてうかがいます

問1 あなたはどのような学習を期待して広島大学に入学しましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

→入学時には、将来、教育職につきたいという期待が高い。

→学習については、どちらかというところ、個人的学習よりも大学の授業への依存傾向が見られる。

II. 教育学部・教育学研究科の教育・学習経験についてうかがいます

問2 あなたは、教育学部の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

問3 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは、大学院の授業が行われている期間に、以下の活動に1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。それぞれあてはまるものを選んでください。

→授業のための準備は学部生よりも院生の方が、ややしっかり取り組んでいる。

→学部生の卒論への取り組みに比して、院生の修論への取り組みはより真摯な態度が伺われる。

→サークル・クラブ活動への参加は、学部・院とも低調である。アルバイトについては、学部・院ともに一定の時間を割いている。

問4 あなたは学部時代（3・4年次）に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。

問5 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院時代に、どのくらい本を読みましたか。また、レポートの作成を行いましたか。

→概して、学部生よりも院生の方が授業、卒論や修論関連等において読書量が上回っている。

問6 教育学部における学習経験についてそれぞれお答えください。

問7 大学院を修了した人にうかがいます。大学院における学習経験についてそれぞれお答えください。

→学部生の授業の理解の程度は、「ある程度理解できている」が7割を超えている。「授業への出席」については、「ほとんど出席している」がほぼ8割であり、成績について「ある程度よい」と考えている学部生は8割強である。一方、大学院生のそれは、全ての項目において、学部生のそれよりも高い数値を示している。

III. 学部・大学院の教育・学習経験の成果や評価についてうかがいます

問8 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果について、それぞれお答えください。

→学習成果の活用についてはいずれの項目も十分とは考えていない。とくに、創造性が乏しい。

問9 学部・大学院の専門分野に関する学習の成果が現在の勤務に役立っていますか。それぞれお答えください。

→専門分野に関する学習成果の勤務における有用性について、知識、技術等については、十分役立っているとはとらえていない。ただ、「教育実習」については、8割強の学生が役立っていると評価している。

問10 あなたは学部教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。

問11 大学院を修了した人にうかがいます。あなたは大学院教育に関して、以下の点についてどの程度の充実感をお持ちですか。

→学部・大学院の充実感では、教養・共通教育の評価の低いことが目立つ。概して、院生の方が充実感が大きい。

問12 あなたは同じ専門分野を学ぼうとしている人に対して、広島大学教育学部・教育学研究科での学習を勧めますか。

→広島大学教育学部・教育学研究科を推薦するという卒業生・修了生が大半である。

問13 あなたは、広島大学教育学部・教育学研究科での学習が投資（授業料を払う価値のあるもの）に値すると思いますか。

→広島大学教育学部・教育学研究科の教育の費用対効果を卒業生・修了生の大半があると考えてくれている。

IV. あなた自身のことについてうかがいます

問14 あなたは教育学部入学時、卒業時、大学院入学時、修了時に将来についてどのように考えていましたか。それぞれもっともよくあてはまるものを1つ選んでください。

→将来像としては、入学時、大半の学生が教育職を望んでいる。しかし、いくらかは未定である。卒業時、大学院入学時、修了時にはほとんどの学生が教育職を念願し、実現している。やや、気になることは、学部終了時点よりも、大学院終了時点の方が、進路先等に関する振幅が大きいことである。

なお、調査対象が、教職新規採用者であるため、このような結果になった。別の進路を選択した学生との比較は必要である。

問15 あなたは将来、教員になろうと決めたのはいつですか。あてはまるものを1つ選んでください。

→教員志望を高校までの入学時以前に決めているのが70%という高率である。逆に、大学院時代に決意する学生もいなくはない。

問16 教員になろうとした動機、きっかけは何ですか。（複数選択可能）

→小（43.8%）、中（39.0%）、高校（27.4%）、大学での学習経験（17.8%）、教育実習（30.1%）と、各々の校種における経験が教員志望になんらかの影響を及ぼしているようである。大学における教育実習も、進路についてのインパクトになっていることが伺われる。

問17 現在の学習指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

→多くが、授業に積極的に取り組む姿勢は持っている。しかし、「児童・生徒の学力などをとらえる力」「授業の設計や運営の技術・技能」「教材についての理解と開発能力」「児童・生徒の実態に即した授業能力」等々の力量は不足していると感じている。

問18 現在の生徒指導の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

→多くが、生徒指導に関わる、そこそこの姿勢は持っている。しかし、自分の力量不足を感じているようである。具体的には、「児童生徒を指導する技術や能力」「児童生徒を支援する技術や能力」「児童生徒の実態に即した個別の生徒指導能力」等々において、自信を持っていないようである。

問19 現在の学級経営の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

→多くが、学級経営に関わる姿勢はあるが、その力量は不足していると感じている。

問20 他の教育活動の力量について、以下の項目はどの程度のものと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

→環境教育、国際理解教育などの新しい教育課題、人権教育や道徳教育という学校教育の実践課題の不足を感じている。

問21 現在の教育状況やあなたの力量からすると、今後どのような領域について高い技術や方法論を身につけることが必要だと思いますか。以下の項目はどの程度、必要だと思いますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

→子どもとの関係力、学級経営、学校経営、授業や評価の方法の不足を感じている。

→「コンピュータなどの情報機器関係の方法や技術」「外国語でコミュニケーションする力」「規律指導などを行う方法や技術」「地域社会の人々とつきあう方法や技術」などについて、不足を感じている。

※自由記述から。肯定的評価の評言は除き、課題に関わる評言のみを抽出した。

1 「教育学部」として学部教育を強調する必要

2 理論的なことのみでなく、実践的な内容や技能の教授・学習を想像以上に希望している。

3 改善点として指摘のあった事項

- (1) 教養教育の個別科目の内容（専門の時間の増加要求、1年生の時からもっと専門を組み入れたカリキュラムの構築、モチベーションの低下）
- (2) 教養教育のパッケージ科目
- (3) 教職科目の内容を学校教育の実態に即して構築（とくに、教職入門）
- (4) 教育実習を公立学校で行い、よりリアルな実践的経験をすることが必要。出身校での教育実習なども取り入れてはどうか。
- (5) 教育実習の期間の延長と授業回数の保証により実践的経験を充実させること
- (6) 教育実習を1年生から体験できるなど早期の段階での設定。いまの子ども達の様子を知ることにより、大学での勉学に一層力が入る。
- (7) 教育実習の際、1クラス10人もいたのでは充実した実習ができない。実施授業回数が少ない問題とも関連する。
- (8) 教育実習以外に学校や子ども達にかかわるチャンスの保証も大切である。
- (9) 教職関係科目を実践経験に踏まえて行うこと（理論偏重にしない）。善し悪しはさておき、ともかくも、実践的な技術・技能に対する要望は強烈にある。実用的でない。血を見ると怖い医者育てているようなものか。
- (10) 演習的な授業構成により、学生が考える授業、参加する授業の提供。マイクロティーチングの積極的な導入。
- (11) 学校現場の先生の講義があるとよい。より、具体的な教育技術、指導技術等を学びたい。
- (12) 教員採用試験対策用の授業の設定などによる、大学サイドの強力な支援の要請
- (13) 学生の人数が多すぎて、個に応じた指導を受けたとは言い難かった。

4. 調査結果から示唆

以上の結果からは、所見に示したような卒業生・修了生の意見があった。これらを総括すると、次のような点が問題点、改善点としてまとめることができる。

- (1) 学生は、授業への依存度が高く、創造性に乏しい。
- (2) 教育実習への期待が大きい。
- (3) 教職科目やそれに関連する授業科目を、より

実践的実際的なものに変え、各学校において実際に必要とされている能力育成に対応することが必要である。

これら3点は、2005（平成17）～2006（平成18）年度に行われるであろう、学部・大学院のカリキュラム改善に生かすべきである。

【謝 辞】

本調査において調査対象となっただいた、
教育学部・学校教育学部，教育学研究科・学校教

育研究科を卒業・修了し，ここ3年間に正採用さ
れた教員のみなさまに，ご協力いただき，感謝申
上げます。